



【学習目標】

対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「図画工作 5・6 年下 わたしとひびき合う」 (日本文教出版)

持ち物

教科書 のり はさみ
 コピー 絵の具セット 筆箱 下敷き タブレット

その他必要なものについては、その都度連絡させていただきます。

【学習の約束】

○いろいろな形や色など、自分のイメージをもちながら取り組みましょう。

○道具や用具の使い方を知り、安全に使いましょう。

○自分や友達の作品の面白さや楽しさを見つけましょう。

○道具の使い方や片付けのルールを守りましょう。

○学習の用意をわすれないようにしましょう。

○次の学習の準備をしてから休みましょう。

○チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。

○呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。

○席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

ぜんき 前期	こうき 後期
<p>○わたしとひびき合う</p> <p>○絵の具スケッチ</p> <p>○ここから見ると</p> <p>○音の絵</p> <p>○糸から生まれるわたしの空間</p> <p>○固まった形から</p> <p>○墨と水から広がる世界</p> <p>○くるくるクランク</p> <p>○この筆あと、どんな空</p> <p>○わたしの大切な風景</p> <p>○使って楽しい焼き物</p>	<p>○1枚の板から</p> <p>○言葉から想像を広げて</p> <p>○水の流れ 水の形</p> <p>○もようから見つけて</p> <p>○自然を感じるすてきな場所で</p> <p>○版で広がるわたしの思い</p> <p>○あったらいいなプロジェクト</p> <p>○感じて 考えて</p> <p>○未来のわたし</p> <p>○形の組み合わせで何ができる？</p> <p>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える、または実施できない場合もあります。</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点	ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
<p>技能・知識</p> <p>材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。</p>	<p>授業の様子 (作品作り・発言・発表) 作品 (絵・立体・工作・造形遊び)</p>
<p>断念・思考・表現</p> <p>創造的に発想し、つくりたいものを構想したり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>授業の様子 (作品作り・発言・発表) 作品 (絵・立体・工作・造形遊び)</p> <p>鑑賞の様子 振り返り</p>
<p>主体的に取り組む態度</p> <p>つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり観賞したりする学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>授業の様子 (作品作り・発言・発表) 鑑賞の様子 振り返り</p>